

第14回全伯国費留学生同窓会全国会合冒頭挨拶 山田大使挨拶（2月6日（土）実施）

皆様、おはようございます。在ブラジル日本国大使の山田彰です。

本日、第14回全伯国費留学生同窓会全国会合が、伯全国各地からの代表者の出席を得て、オンラインで開催されることに、ABRAEXをはじめ関係者のご尽力に深く感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの対面のイベントが中止される大変厳しい状況が続いており、私も昨年開催された全国会合以降、多くの人数が集まるに参加できなくなってしまいました。

しかし、今回のように多くのオンラインのイベントに参加をさせていただいております。直接お会いできないのは非常に残念ではありますが、オンラインであれば遠く離れた人ともお話することができるので、多くの人たちと話すことができる機会をポジティブにとらえています。

皆様も、帰国留学生のネットワーク強化や日本留学促進、日本文化関係イベントの開催等様々な活動に熱心に取り組んで頂いていただきましたが、新型コロナウイルスの影響で色々ご苦労も多いと思います。

日本政府や全在伯公館は、ブラジルと協力して新型コロナウイルスに共に打ち勝つことができるように様々な取組をしており、この後、私の方からその取組を紹介したいと思います。

現在、国費留学生も含めて日本に外国人が入国するのは難しい状況ではありますが、状況が落ち着いた後は、ブラジル人が日本に留学することを促進するために、皆様へのサポートを強化していく所存です。現在のご苦労も含めて、本会合を通じて忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。

最後になりますが、本日お集まりの全国の同窓会の皆様の更なるご活躍とご健勝、そして日伯の一層の友好親善を祈念致します。有り難うございました。

（了）